

「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」をお迎えする 「立教開宗」、なんじゃらほい？

■立教開宗、って誰の話？

「立教開宗」という言葉は、親鸞聖人にはない。これは知っていた。けれど先日、教化研究所の定例で、これが師匠の法然上人の言葉だと知った(池田勇諦、1993)。言われてみればそうだ。親鸞にとって「浄土(の)真宗」とは、そもそも師の教えを指すものなのだから。けれど実際はこの言葉、法然の事業を指すものでもなかった。

「立教開宗」の語が直接見えるのは、法然の「無量寿経釈」(『漢語燈録』)。けれど、そこで言われていることは、実はあの『選択集』(『選択本願念仏集』)の、導入部分でなされる議論とまったく同じ。「ただ念仏しなさい。念仏こそが阿弥陀仏の本願に合った、ただ一つの行なのだから」。そう世に力強く打ち出したこの著において、要するにその「土台」を成すのが「立教開宗」である。そして当の法然は、この議論を全面的に、道綽の『安樂集』に依っている。つまり法然浄土教は「立教開宗」をもって始まるが、その精神は「道綽」にまで遡る。親鸞でもなく法然でもない。「立教開宗」という言葉の意味は、実は道綽に求められねばならない。

でも、何で道綽？

■立教開宗、って何の話？

なぜ「道綽」なのか、と言えば、そこで初めて「浄土教」が独立したから。「七祖」に即して言えば、龍樹・天親・曇鸞ではなく、道綽をまって初めて、浄土の教えが他の仏教全般とは違うものとして宣言された。『選択集』で最初になされる議論、「二門

章」は、その名の通り「浄土の門」を「聖道門」から区別して立てる(立教)もの。そして親鸞もまた、師のこの問題設定をそのまま踏襲する。「道綽決聖道難証 唯明浄土可通入」(道綽こそが、聖道の教えはすでに成り立たないのだと決着させ、ただ浄土の教えにこそ入るべきことを明らかにした)。

では、どうしてわざわざ、そこに新たに「浄土の教え」が立ったのか。そこにあるのは時代認識だ。

「これまでの教え(聖道門)では、とても間に合わない。当の私たち自身、それに相応して生きることができない」。親鸞において、道綽と言えば「末法史観」。「当今は末法、現にこれ五濁悪世なり」。現代とはいかなる時代か、今を生きる我々はどのような存在か。これまで明らかでなかった教えを立てる、という一大事業「立教開宗」は、その突き詰められた「時代認識」を下敷きにしている。どっちでもいい、ではなく、「コレでなければならなかった」のだ。

道綽も法然も親鸞も。「聖道か浄土か」という区別でなければ他の七祖も、また七祖以外でも、丁寧にたどればそのつどの具体的な「時代感覚」と、それと相即した「機の自覚」が見えてくるに違いない。あくまでその「具体的な自己」を場所としてのみ、「浄土=本願念仏」の讃仰は起こるのだから。

では現代の、自分たちは？

■「私にとっての立教開宗」って言えるかどうか

ここまで来ると、浄土真宗の「立教開宗」はもう「個人レベルのもの」ではない。個人が打ち出すも

のではなく、だから「開祖」もない。一定の背景をもって各々に具体的に現れるもの、「念仏の歴史」においてそのつど顕在化するもの。

だから浄土真宗に身を置く者は、本当はそのつど「今の時の者」である。これは何も特別なことではなく、要するに一切がちゃんと「自分自身の」問題になっているかどうか、ということ。この「現代の我々は」が欠けると、浄土の教えは成り立たない。

けれど(あるいはだからこそ)今、次のことを問うてみたい。この「現在は何?」「我々自身は何?」は、現代の私たちに本当に成り立つだろうか。道綽に具体化した、上記「立教開宗」の精神を踏まえたうえでなお、「立教開宗とは、この私にとってのものだ」とハッキリ断言できるだろうか。もしや私たちは今、そういうことを問えない時代にいるのでは? 天邪鬼に聞こえるかもしれない。けれど実感として、何かこういうことを言い切れないような、歯切れの悪いものを抱えてはいないか。

「自己」とは決して始めからあるものではなく、内へ内へと深められつつ形成されるもの。具体的な生の中で、そのつど行為し意識し、喜び悲しみ、反芻され確かめられることがないと、自己はいつまでも眠ったままだ。自己が自身に向き合うことに水を差すような、「外」ばかり見ていてそれでよしとするような空気が、世界全体をのっぺりと覆っている気がする。

どのような「自己」にも届くはずの、本願の教え。でも肝心の「自己」はどこ？

高山地区教化研究所所員

高山2組 往還寺 内記 洸



★センター・別院からのお知らせ★

4000人の歓声 ～子どものつどい in 東本願寺～

5月5日、慶讃記念事業の一つとして「子どものつどい in 東本願寺」が行われた。参加者の事前募集では1650人とのことだったが、当日は飛び入り参加や保護者、スタッフをあわせて全国から約4000人がつどい、大盛況となった。高山地区からも、子どもたち15人が参加した。

オープニングセレモニー後の「遊ぼう」では、各教区・団体が趣向を凝らしたお楽しみブースを用意し、子どもたちを迎えた。高山地区は、青少幼年部会が「ごぼうチャンネル!」のコンテンツの一つ「仏典童話」を、チャイを飲みながら視聴してもらい「インドカフェ&仏典童話シアター」を企画し、全国の子どもたちにインドの味とあわせて仏典童話の世界に触れていただいた。また、昼からのおつとめの時間では、満堂の御影堂のなかで子どもたちの「正信偈」の音が響き渡った。

高山地区からの参加者は、行きのバスの中から皆大盛り上がりで、「新しい友だちができた。またこういうイベントがあったら行きたい!」と、子どものつどいを満喫してもらえたようだった。



「同朋唱和」の復活を呼び掛けるべき時の到来

—コロナ感染症5類移行後の臨み方を考える—

コロナ感染が始まって約3年間、お寺や葬儀場での「正信偈同朋唱和」が、ほぼ封印されたと言っても過言ではないと感じています。今般、少しずつ同朋唱和の声に戻ってきているかなと感じられますが、5月、コロナ感染症が5類に移行となったことに合わせて、センター・別院としては、さらに同朋唱和の復活を呼び掛ける時が来ているものと考えています。

何事においてもそうですが、生活の中で定着してきた慣習が思わぬことで途切れてしまった場合、それを復活させることに相当の困難が伴うことは、だれもが想像できることです。「枯れた川は生き返らない」という言葉が思い出されます。今まさに、同朋唱和についてそのような危機を感じます。

何度かこの紙面でも触れましたが、飛騨では、多くのご門徒宅で行われていた在家報恩講が戦後衰退し、ほんの一部のお寺や地域で営まれていることを聞きます。今となっては、「どうも、戦中戦後頃に、在家報恩講は無くなったらしいぞ…」と、語り継がれていますが、在家報恩講が動まらなくなっていったことへの、「申し訳ない」という慚愧の声を、僧侶寺族から聞いたことがありません。

もし今後、同朋唱和が衰退の一途をたどった場合、理由は「コロナでした」ということは伝わるでしょうが、本当にそういった社会状況だけが理由なのか! 在家報恩講衰退に重ねて考えた時、このたびの同朋唱和の危機について、僧侶寺族、真宗門徒である者が何を考えどう立ち回るのかを、曖昧に見過ごしてはいけなさと考えます。

まだまだ、ダイレクトに「元に戻しましょう!」と言えない状況があるかもしれませんが、まずは、それぞれの現場で同朋唱和復活のために何ができるのか、考えていくことが求められるのではないのでしょうか。

飛騨御坊真宗教化センター長 三島多聞

飛騨御坊を中心道場として、今年もご回壇が実施されてまいります

ご回壇は、飛騨御坊(高山別院)が主体となって、別院の崇敬全寺院(会所)を対象に行なう重要な教化事業です。「飛騨真宗門徒の信条」(信条第5条)「飛騨御坊を中心道場として護持し、法灯を相続します」の具体的実践の場であり、報恩講に次いで大切な行事です。今年6月以降の各会所の実施予定を掲載しますのでご参照ください。

■6月以降のご回壇開催予定

組	会所	期日	時刻
2023年6月			
高山1	真蓮寺	28日 水	午後7時
7月			
高山2	速入寺	2日 日	午後1時半
高山2	玄興寺	2日 日	午後1時半
清見	西方寺	2日 日	午後7時
益田	永養寺	8日 土	午後1時
益田	頓乗寺	8日 土	午後1時半
朝高	西教寺	9日 日	午後1時
益田	桂林教会	9日 日	午後1時半
高山2	往還寺	9日 日	午後1時半
益田	浄福寺	13日 木	午後1時
益田	妙覚寺	15日 土	午後1時
益田	慈雲寺	15日 土	午後1時
朝高	法正寺	15日 土	午後1時半
益田	蓮光寺	16日 日	午後1時
高山2	久々野教会	16日 日	午後1時半
益田	桂林寺	19日 水	午前10時
高山2	浄覺寺(山三)	22日 土	午後1時半
朝高	大徳寺	23日 日	午後1時半
8月			
高山1	福寄同行	6日 日	午後1時
清見	了徳寺	6日 日	午後7時
高山2	秋声寺	8日 火	午後1時半
荘白川	常德寺	18日 金	午後7時半
荘白川	法蓮寺	19日 土	午前10時
荘白川	浄楽寺	19日 土	午後7時半

組	会所	期日	時刻
荘白川	蓮光寺	19日 土	午後7時半
清見	一念寺	19日 土	午後7時半
高山1	瓜巢同行	20日 日	午後2時
清見	西光寺	20日 日	午後7時半
清見	了因寺	20日 日	午後7時
荘白川	敬勝寺	22日 火	午後7時
高山2	誓願寺	24日 木	午後1時半
荘白川	明善寺	25日 金	午後7時
朝高	常照寺	26日 土	午後1時半
朝高	長円寺	26日 土	午前10時 午後1時半
朝高	円城寺	27日 日	午後1時半
朝高	寶蓮寺	27日 日	午後1時半
清見	蓮徳寺	27日 日	午後1時半
吉城	宝林寺	27日 日	午後2時
高山1	専念寺	28日 月	午後7時
荘白川	宝蔵寺	31日 木	午後1時
9月			
吉城	聖圓寺	2日 土	午後2時
清見	弘誓寺	2日 土	午後7時
清見	満成寺	2日 土	午後7時
清見	長林寺	2日 土	午後7時
清見	檜谷寺	3日 日	午後2時
吉城	南春寺	3日 日	午後2時
吉城	浄慶寺	3日 日	午後1時半
吉城	浄永寺	4日 月	午後1時
高山2	了心寺	4日 月	午後7時

組	会所	期日	時刻
清見	西正寺	5日 火	午後7時半
吉城	願徳寺	7日 木	午後1時半
荘白川	蓮勝寺	10日 日	午後1時
益田	賢誓寺	10日 日	午後2時
高山1	不遠寺	11日 月	午後1時半
高山2	還来寺	17日 日	午後1時半
吉城	誓願寺	19日 火	午後1時
高山2	随縁寺	23日 土	午後1時半
高山1	了泉寺	23日 土	午後2時
荘白川	浄念寺	24日 日	午後1時半
吉城	西念寺	24日 日	午後1時半
清見	恵林寺	24日 日	午後1時半
10月			
高山2	宝円寺	8日 日	午後1時半
高山2	圓徳寺	9日 月	午前10時
荘白川	了宗寺	28日 土	午前10時
11月			
高山2	浄願寺	12日 日	午後1時半
12月			
高山1	蓮乗寺	3日 日	午後1時半
2024年1月			
高山1	暎芳寺	13日 土	午後4時
高山1	称讃寺	14日 日	午後3時
6月			
高山2	願生寺	30日 日	午後1時半

※5月24日現在で、期日が決定している会所のみ掲載。

飛騨御坊ホームページ『ひだご坊一口法話』6月

森 香里氏 (高山2組秋聲寺前坊守)
宮本美和子氏 (朝日高根組長圓寺門徒)



※印刷したものの郵送をご希望の方は、教務支所までご一報ください。

WEB一口法話はこちら

御坊文化芸術祭 天空の響 モンゴル国立楽団

天の音色を奏でるモンゴル国立楽団
—感動は、あらゆる差異を超える—
日時 6月6日(火)19:00 開演
(18:00 開場)

場所 高山別院本堂(300席限定)

主催:飛騨仏教青年会(協賛 高山別院)

※現在、席はほぼ満席の見込みです。

席数を確定するため、配布用チケットをお持ちのご寺院は
急ぎ別院までご返納いただきますようお願いいたします。



婦人研修会

日時:6月23日(金)13:30~
会場:高山別院本堂
法話:窪田 純氏

佐奈姫忌

日時:6月26日(月)13:30~
会場:墓所・松本町公民館
法話:三島多聞輪番

飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2023年6月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場
1	木			
2	金			
3	土	13:00 19:00	別 三日のご坊 法話:内記 洸氏(往還寺副住職) 組 高山1組親鸞教室⑤	本堂 研修室
4	日			
5	月	7:00	別 半日華	
6	火			
7	水	14:30	七 企画会議	研修室
8	木			
9	金		組 高山1組後期教習(~11日)	本山
10	土			
11	日	13:00	別 大谷婦人会定例 法話:三島多聞氏(輪番)	御坊会館
12	月			
13	火	7:00 13:30	別 前住上人ご命日 組 高山2組組会	本堂 研修室
14	水	13:30	組 高山2組坊守会 教 解放推進協議会現地学習会	研修室 水平社博物館
15	木	7:00	別 半日華	
16	金	19:00	組 益田組真宗講座	萩原町

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場			
17	土						
18	日	19:00	組 荘白川組公開講座	黒谷公民館			
19	月						
20	火						
21	水						
22	木						
23	金	13:30	教 婦人研修会	本堂			
24	土						
25	日	7:00 13:00	別 半日華 別 納骨経	本堂			
26	月	13:30 19:00	別 佐奈姫忌 教 教化研究所	松本公民館 研修室			
27	火	13:00	別 親鸞聖人お逮夜	本堂			
28	水	13:00 14:30	別 親鸞聖人御命日 法話:三島見らん氏(西念寺住職) 七 高山地区センター総会	本堂 御坊会館			
29	木	13:30	組 高山支部坊守会総会	研修室			
30	金	15:30	組 高山1組組会	研修室			
2023年7月 ※15日ごろまでの掲載とし、定例行事は省きます。							
日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
11	火	14:00	教 教区坊守会総会	13	木	19:00	組 高山2組組会